

平成25年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	科学研究情報発信基盤の強化	担当部局庁	研究振興局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度・未定	担当課室	情報課学術基盤整備室	学術基盤整備室長 長澤 公洋				
会計区分	一般会計	政策・施策名	基礎研究の充実及び研究の推進のための環境整備 IX-1 学術研究の振興					
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-	関係する計画、 通知等	第4期科学技術基本計画 (平成23年8月閣議決定)					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	科学技術・学術情報の円滑かつ効率的な流通を図るため、科学技術・学術情報発信・流通に関して、情報基盤の現状を明らかにし、科学研究情報発信基盤の強化を推進する。							
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	科学研究情報発信基盤の強化に資するため、有識者の参画を得て、大学等の教育研究活動を支える重要な基盤である情報基盤の整備改善の在り方を検討するとともに、当該検討の基礎としても活用される科学技術情報発信基盤の実態を把握する。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	-	13.3	13.3	10.2	9.7	
		補正予算	-	-	△ 0.0	-		
		繰越し等	-	-	-	-		
		計	-	13.3	13.3	10.2	9.7	
	執行額	-	8.8	13.5				
執行率 (%)	-	66.2	101.5(※)					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	本事業は、調査等によって科学技術情報基盤の実態を明らかにし、文科省における今後の施策や各大学等における自らの情報環境の改善等に向けた検討に活用される情報を提供することにより、わが国の科学研究情報発信基盤の強化に資することを目的として事業を進めているため、定量的な成果指標を示すことができない。		成果実績	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	科学技術情報発信基盤の実態把握にかかる調査回数		活動実績 (当初見込み)	回	-	4 (2)	3 (2)	— (2)
単位当たりコスト	5.1 (百万円/回)		算出根拠	単位当たりコスト = 当初予算額(10.2百万円) / 調査回数(2回) (※事務経費を含む)				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	庁費	9.3百万円	8.8百万円					
	職員旅費	0.5百万円	0.5百万円					
	委員等旅費	0.2百万円	0.2百万円					
	諸謝金	0.2百万円	0.2百万円					
	計	10.2百万円	9.7百万円					

事業所管部局による点検						
		項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	わが国の大学等の教育研究活動を支える基盤についての改善の検討やそのための実態把握については、国が実施する必要がある。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	科学技術情報基盤を強化するという業務の専門性を踏まえつつ効率的・効果的な執行に努めている。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		-			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	科学研究情報発信基盤の強化に資するため、情報基盤整備の検討をするとともに、実態把握に関しては、調査項目について学術調査官や外部の専門家の意見を聞くことにより、効果的な調査に努めている。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)					
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<p>・本事業にかかる経費は、文部科学省において直接執行しており、会計規則に基づき適切な処理に努めている。</p> <p>・本事業の実施に当たっては、科学技術情報基盤を強化するという業務の専門性を踏まえつつ、多くの競争入札者を得るため仕様書を工夫する等により、効率的・効果的な執行に努めている。</p> <p>・本事業の実施に当たっては、科学研究情報発信基盤の強化に資するため、情報基盤整備の検討をするとともに、実態把握に関しては、調査項目について学術調査官や外部の専門家の意見を聞くことにより、効果的な調査に努めている。</p>					
外部有識者の所見						
外部有識者による点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業内容の改善	<p>1. 事業評価の観点:この事業は、科学技術・学術情報発信・流通に関して、情報基盤の現状を明らかにし、科学研究情報発信基盤の強化を推進するものであり、契約・執行手続きの観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見:本事業は、平成23年度決算において不足額が生じていたものの、平成24年度決算においては、0.3百万円の不足が生じ、同一科目から流用増しているところ。今後は、不足額が生じたより詳細な要因を分析した上で、効率的・効果的な事業運営に努めるべきである。</p>					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
執行等改善	平成24年度においては、前年度末の3月29日に開催された科学技術・学術審議会の研究計画・評価分科会情報科学技術委員会と学術分科会研究環境基盤部会学術情報基盤作業部会の合同会議において要請され、年度始め早々の4月16日に設置された「アカデミッククラウドに関する検討会」について、その規模や開催回数が想定を上回ったこととともない不足額が生じていたものであるが、平成25年度予算においては、必要な所要額を計上しているところである。また、会議の開催の予定等に基づき執行の見直しを行うことにより適正な運営に努める。					
備考						
※ 年度内に同一(目)内(諸謝金、職員旅費及び委員等旅費)で流用増して執行。						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	-	平成23年	新23-0048	平成24年	0244

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

文部科学省
13.5百万円

庁費 11.9百万円
職員旅費 0.6百万円
委員等旅費 0.6百万円
諸謝金 0.4百万円

事業概要：
科学研究情報発信基盤の強



【一般競争入札・請負】

A. (株)アーク情報システム
3百万円

事業概要：
学術情報基盤実態調査に
係るシステムの設計・開発
業務

※100万円未満の契約については、記載を省略。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A. (株)アーク情報システム			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務費	学術情報基盤実態調査に係るシステムの設計・開発業務	3			
計		3	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)アーク情報システム	学術情報基盤実態調査に係るシステムの設計・開発業務 一式	3	5	64.55%